

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	群馬県箕郷町立車郷小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7	14
児童数	22	37	33	30	35	33	1	191	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力」を育てる算数科の指導 - 自己評価を生かした指導の工夫を通して -

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数 算数において基礎・基本の定着が不十分な児童が多くみられ、理解や習熟の程度に応じた算数科の授業改善の必要に迫られていたため。

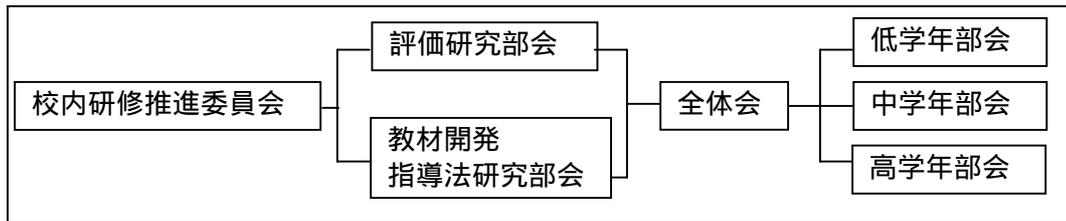
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 自己評価を生かした指導の工夫</p> <p>仮説 自己評価をもとに、指導形態を工夫すれば、子どもは主体的に学び、確かな学力を身に付けていくであろう。 （1年次）何をどのように自己評価させるか。</p> <p>研究の内容・方法 ・子どもたちがコースを選択するための自己評価 ・学習の「ねらい」に照らして、分かったのか、できたのかを振り返る自己評価 ・学習への取り組みについて、楽しかった、満足したなどの情意面を振り返る自己評価 ・TT、習熟度別指導、スクールボランティアの導入</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ - 自己評価を生かした指導の工夫を通して -</p> <p>仮説 1年次に同じ （2年次）自己評価をどのように支援に生かすか。</p> <p>研究の内容・方法 ・自己評価を生かした支援の工夫</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・自己評価の工夫に取り組むことにより、低学年・中学年・高学年の基本となる自己評価カードを作ることができた。
- ・補充コース・発展コースそれぞれの理解の程度に応じた指導ができ、意欲がみられるようになった。
- ・スクールボランティアの導入により、特に個別指導が必要な児童に効果が見られた。

2. 今後の課題

- ・個に応じた指導形態の基本形をもとに、T・Tや習熟度別学習、スクールボランティアの導入を計画的に実践していく。
- ・主体的にコースを選択したり自分の学習状況をつかんだりできるように自己評価カードの工夫や評価する場の工夫をするとともに、自己評価を生かした支援の在り方を工夫をする。

学力等把握のための学校としての取組

- ・学力検査 算数科の学力の定着状況を捉え、支援に生かすため
前学年で学習した算数科の内容
4月下旬

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・フロンティアスクールとしての研究成果の普及とさらなる授業改善のため
- ・授業公開 H.15.1.22 13:50 管内の小中学校対象
- ・箕郷町全体研修会 H.15.2.12 16:00 町教職員対象
- ・Webページに研究成果を掲載する予定
- ・保護者と町の小中学校の教職員への研究への取り組みの紹介
- ・広報誌「フロンティア梅の郷」の配付

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下 13～18学級 25学級以上	7～12学級 19～24学級		
【指導体制】	少人数指導 一部教科担任制	T・Tによる指導 その他		
【研究教科】	国語 生活 体育	社会 音楽 その他	算数 図画工作	理科 家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	